

裾野市議会議員

2011.12

か も ひろ み
賀 茂 博 美

発行:かも博美後援会

裾野市伊豆島田 230-4

TEL・FAX: 993-1876

<http://www2.ocn.ne.jp/~kamo163/>

《 ご挨拶 》

東日本大震災から9ヶ月が経過しましたが、被災地では山のようにがれきが積まれています。川勝知事は静岡県内で600トンのがれきの受け入れを県内市町村にお願いしています。裾野市においても安全性の確保が出来れば受入れていきたいと12月定例会で市長が表明しております。

行 政 報 告



『消防救急の広域化』検討について



平成18年、総務省消防庁は、『市町村の消防広域化に関する基本指針』を告示しました。

静岡県では平成20年「静岡県消防救急広域化推進計画」を策定し、小規模な消防体制では出動体性、保有する消防車両、専門要因の確保に限界があり、必ずしも十分でないとの見解により、市町村の消防の広域化を図ることにより、消防力の強化による住民サービスの向上、消防に関する行財政運営の効率化および基盤の強化の効果を期待しています。

そこで・・・

静岡県東部の富士市・富士宮市、御殿場市・小山町を除く、8市8町で検討していくことに・・・



	制度設計Ⅰ	制度設計Ⅱ	裾野市 《現在》
	8市8町	3市2町	
管轄面積	1,717Km ²	422 Km ²	138 Km ²
管轄人口	75 万 5 千人	44 万 4 千人	5 万 3 千人
消防職員数	1045 人	540 人	72 人

※ 現在 3 市 2 町(裾野市、長泉町、三島市、沼津市、清水町)にて指令センターを共同運用しています。

構成市町の8市8町では、『制度設計Ⅰが良いのでは』との見解のようです。裾野市では消防救急の広域化によるメリット、デメリットを含め、市民の消防救急サービスを一番に考え、検討しています。裾野市議会では8市8町の枠組みには加わらないほうが良いのでは・・・との声が多くあります。



外部委員による事業評価について

裾野市では、初めて事業の見直しを外部委員(裾野市行政改革推進委員会)にて実施しました。

事業名	具体的事業	事業費	評価
高齢者福祉サービス	生きがい対応型デイサービス事業	579万円	事業統合含む小幅な縮小
	在宅高齢者等食事サービス事業	655万円	事業統合含む小幅な縮小
	老人日常生活用具給付・貸付事業	836万円	事業統合含む小幅な縮小
敬老会事業	敬老会事業	3553万円	方法変更含む小幅な縮小
すその一運行事業	すその一運行委託事業	4031万円	方法変更含む小幅な縮小
財)裾野市振興公社 事業	ヘルシーパークすその管理事業	3038万円	方法変更含む大幅な縮小
	文化センター事業	1億3537万円	実施方法の変更

裾野赤十字病院 補助事業	救急医療への補助	1億0552万円	実施方法の変更
	医療機器整備への補助	2025万円	実施方法の変更
	施設整備への補助	7940万円	継続 現行どおり
TMO 運営補助事業	TMO 運営補助事業	463万円	実施方法の変更
	中心市街地活性化事業	119万円	他の事業に統合
非常勤講師派遣事業	非常勤講師派遣事業	1億2709万円	小幅な縮小
小中学校給食事業	小学校給食管理事業	2億2975万円	大幅な縮小(補助金廃止)
	中学校給食管理事業	2億4370万円	大幅な縮小(補助金廃止)
社会福祉協議会補助金 及び委託事業	社会福祉協議会補助金事業	2203万円	方法変更含む小幅な縮小
	ボランティア推進事業	38万円	他の事業に統合
	ボランティアセンター運営事業	418万円	他の事業に統合
シルバー人材センター 運営費補助事業	シルバー人材センター 運営補助事業	1473万円	小幅な縮小

事業評価結果を最大限尊重し、平成24年度予算編成が行なわれるとのことです。

12月定例会 かも 博美 の一般質問

事業評価について

24年度予算編成にあたり、財政状況を考え実施された事業評価および評価対象とならなかった事業の見直しはどのように行い、予算へ反映されるのか？



Q 事業の見直し・削減による市民生活への影響は？

A 市民サービスの低下は避けられない

Q 現在の枠配分の予算編成ではなく、事業を個々に丁寧に査定していくことが必要では？

A その通りであり、徹底的に事業の見直しを実施していく。

『子ども手当』からの給食費滞納分・保育料滞納分の徴収を

給食費や保育料の滞納分の徴収は教育・保育現場、担当課の負担となっています。
昨年度の給食費の滞納は4件・保育料については1千万円以上の滞納額がありました。

Q 子ども手当からの滞納分徴収の取組みを実施してはいかがか？

A 給食費の滞納分については実施の方向で検討。

A 保育料の滞納分については、世帯により保育料も異なることなどから実施方法を調整検討する

広報無線放送をより皆さんの身近に

広報無線放送は私達の情報収集源として大変重宝しています。しかし、時には聞き逃してしまったり、再度確認したい時があります。電話で再度確認できたら便利ですね。

Q 広報無線放送を電話にて再確認できる制度を導入してみても？

A 今後、広報無線のデジタル化に向け検討する際に、検討していく。
現段階での導入は困難である。

編集後記

皆様にとって今年はどういう年でしたか？東日本大震災は日本を大きく変えました。自然の驚異を改めて実感し、放射能の与える見えない恐怖…私達は災害やエネルギーに対する意識が大きく変わったのではないのでしょうか。絶対に忘れてはいけない一年だと感じています。来年は明るい話題の多い年であるように願っています。

そして、私は今年以上に、人として、また議員としても幅を広げていきたいと思っています。来年もご指導、ご支援を宜しくお願いします。皆様に幸多き年が訪れますように！

